

高山市消防フェスティバル 2025 に岐阜県代協と共に出展

～自然災害への備えの重要性の説明と災害便乗商法への注意喚起を実施～

日本損害保険協会岐阜損保会(会長：西川太郎 東京海上日動火災保険株式会社 岐阜支店長)では、6 月 15 日(日)に岐阜県高山市で開催された高山市消防フェスティバル 2025 に出展し、自然災害への備えの重要性の説明と災害便乗商法に対する注意喚起を行いました。

高山市消防フェスティバルは、高山市と高山市消防協会の主催で、高山市国府町の国府スポーツ公園にて午前 10 時から午後 3 時頃まで開催されました。当日はあいにくの天候でしたが、消防操法大会のほか初期消火訓練や地震の揺れを体験するコーナーなどがあり、約 1,000 人の来場者がありました。

損保協会のブースでは、岐阜県損害保険代理業協会と協力し、フェスティバルに訪れた親子連れなど約 100 人に、自然災害に関するクイズに答えてもらい、自然災害への備えの重要性を説明しました。中でも地震保険についてのクイズでは、保険対象は建物のみで、家財には付けられないと思っている人が多く、家財保険の必要性を説明しました。併せて、最近トラブルが増加している悪質な住宅修理業者の被害に遭わないように注意喚起し、小学生にはぼうさい探検隊の紹介と応募勧奨も行いました。

当支部では、自然災害による被害の軽減と、災害便乗商法の被害者を減らすため、今後も積極的な情報提供を行っていきます。



〈損保協会のブースの様子〉



〈消防操法大会の様子〉



〈会場の様子〉